

木材・木製品の合法性・持続可能性証明書
(奈良県地域認証材証明書)

年 月 日

奈良県知事 殿

事業者の所在地
事業者の名称
代表者氏名
事業者認定番号

印

※法人の場合は必ず代表者印（丸印）を使用してください。

この様式は、地域認証材の認証ができる事業者（製材所等）が記入する

法人の場合は必ず代表者印（丸印）を使用（社印のみは不可）

奈良県地域認証材使用住宅助成事業・奈良県使用住宅助成事業補助金交付要綱に基づき補助金交付申請のされている下記の物件は、持続可能な森林経営を行っている森林から、合法的に伐採され、適切に分別管理した奈良県地域認証材であることを証明します。

記

1 原木生産地 市町村名

2 樹種

3 品目

4 数量

5 建物名 様邸

申請者の氏名が記入されていることを確認

(注)

- ①品目は、丸太、製材、合板、集成材等の区分を記載してください。
- ②数量は、商取引上の単位（本、枚、㎡等）を記入してください。

木材・木製品の合法性・持続可能性証明書
(奈良県産材証明書)

年 月 日

奈良県知事 殿

事業者の所在地

事業者の名称

代表者氏名

事業者認定番号

印

▲この様式は、県産材の認証ができる事業者（製材所等）が記入

▲法人の場合は必ず代表者印（丸印）を使用（社印のみは不可）

※法人の場合は必ず代表者印（丸印）を使用してください。

奈良県地域認証材使用住宅助成事業・奈良県使用住宅助成事業補助金交付要綱に基づき補助金交付申請のされている下記の物件は、持続可能な森林経営を行っている森林から、合法的に伐採され、適切に分別管理した奈良県産材であることを証明します。

記

1 原木生産地 市町村名

2 樹種

3 品目

4 数量

5 建物名 様邸

▲申請者の氏名が記入されていることを確認

(注)

①品目は、丸太、製材、合板、集成材等の区分を記載してください。

②数量は、商取引上の単位（本、枚、m³等）を記入してください。

どちらか又は両方に☑を入れる

色づけされている箇所に記入すること
(記載された内容は、様式12に反映され
ます。)

奈良県地域認証材使用住宅助成事業

奈良県産材使用住宅助成事業

(該当する事業に☑してください。)

完了実績報告書

奈良県知事 殿

年 月 日

申請する日付を記入
工事完了後、10日以内か令和3年3
月22日以前の日付けであることを
確認

申請者

現 住 所 〒
(所在地)

申請時住所 〒
(所在地)

氏 名 印

申請書、事務委任状と同じ印鑑を使用

電 話 番 号

F A X 番 号

※必ず補助金交付申請書と同じ印鑑を使用して下さい。

申請代理者

住 所 〒
(所在地)

名 称

代 表 者 印

申請書、事務委任状と同じ印鑑を使用

電 話 番 号

F A X 番 号

※必ず事務委任状と同じ印鑑を使用して下さい。

(事務担当者) 住所※

所属

氏名

TEL

FAX

※申請代理者と事務担当者の住所が同じ場合は記入不要です。

「補助金交付申請書」申請代理者を記入
している場合は、必ず記入および捺印

奈良県地域認証材使用住宅助成事業・奈良県産材使用住宅助成事業補助金交付要綱に基づき、
事業を完了したので別添のとおり報告します。

色づけされている箇所に記入すること

1. 建物の概要

		申請者氏名	
①	建築 (工事施工) 場所	地名地番	
		住居表示 (※1)	
②	建物概要	住宅区分	<input type="checkbox"/> 持家 <input type="checkbox"/> 分譲住宅 (いずれかに☑してください。)
		用途	工事種別 <input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 増築 <input type="checkbox"/> 改築 <input type="checkbox"/> リフォーム (いずれかに☑してください。)
		工法	構造・階数 造 階建 新築の場合 延べ面積 m ²
			その他の場合 対象床面積 m ²

・「住宅区分」欄が☑分譲住宅の場合、「工事種別」欄は☑新築のみが対象
 ・「用途」欄には、「専用住宅」や「一戸建ての住宅」等と記載

※1 住居表示が未定の場合は「未定」と記入。

2. 木材の使用量

認証材	構造材	m ³
	内装材	m ²
県産材	構造材	m ³
	内装材	m ²

【備考】○併せて申請可能な組合せ
 「認証材の構造材と内装材」
 「県産材の構造材と内装材」
 「認証材の構造材と、県産材の内装材」
 「県産材の構造材と、認証材の内装材」
 ○併せて申請できない組合せ
 「認証材の構造材と、県産材の構造材」
 「認証材の内装材と、県産材の内装材」

※使用内訳書（第2号様式、第3号様式、第4号様式、第5号様式）の使用量と一致するように記入（小数第1位まで）。

3. 補助金の交付決定額

構造材 (①)	円
内装材 (②)	円
合計 (①+②)	円

【参考】補助金額

構造材 (円)			内装材 (円)		
使用量 (m ³)	認証材	県産材	使用量 (m ²)	認証材	県産材
5m ³ 以上	150,000	100,000	20m ² 以上	100,000	50,000

認証材構造材使用 ~~(予定)~~ 内訳書

(1/)

色づけされている箇所に記入すること

認証材使用量	0.0 m ³
--------	--------------------

構造材用

申請者氏名 _____

申請者の住宅等の構造材における認証材の材積は、下記のとおりであることを証明します。

住所	_____
工事施工業者名称	_____
代表者名	_____ 印
電話番号	_____

※法人の場合は必ず代表者印（丸印）を使用して下さい。

法人の場合は必ず代表者印（丸印）を使用

番号	使用部位名	樹種	長さ (mm)	断面寸法 (mm)		単材積 (m ³)	本数 (本・枚)	材積 (m ³)
				幅	厚み			
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								
31								
32								
33								
34								
35								
36								
37								
38								
39								
40	合計							0.0000

一緒に提出する「納品伝票」に記載されている木材の明細の、使用部位名、樹種、長さ、断面寸法、本数等と突合できるようにする
 （実際に使用した本数が納品された本数より少ない場合等、「納品伝票」の木材の明細とこの様式に記入する木材の内訳が一目で突合できない場合は、この様式の左側に記載の木材の番号を、納品伝票の該当する木材の横に手書きで記入するなどして分かるようにする。）

《注意事項》

- 認証材構造材使用内訳書として使用する場合は、(予定)を二重線“=”で消して使用してください。
- 対象部材は、土台、柱(管柱及び通柱を含む。)、梁(小屋梁を含む。)、桁、胴差、大引、構造用合板です。(間柱は対象外)
- 納品伝票の写しと共に提出する際には、本内訳書と納品伝票の写しの内容が突合できるように記入してください。

認証材内装材使用（~~予定~~）内訳書

色づけされている箇所に記入すること

認証材使用量	0.0 m ²
--------	--------------------

内装材用

申請者氏名 _____

申請者の住宅等の内装材における認証材の面積は、下記のとおりであることを証明します。

工事施工業者	住所	_____
	名称	_____
	代表者名	_____ 印
	電話番号	_____

※法人の場合は必ず代表者印（丸印）を使用して下さい。

法人の場合は必ず代表者印（丸印）を使用

番号	使用部位名	樹種	長さ (mm)	断面寸法 (mm)		単面積 (m ²) 長さ×幅	本数 (枚)	面積 (m ²)
				幅	厚み			
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								
31								
32								
33								
34								
35								
36								
37								
38								
39								
40								
	合計							0.0000

一緒に提出する「納品伝票」に記載されている木材の明細の、使用部位名、樹種、長さ、断面寸法、本数等と突合できるようにする
(実際に使用した本数が納品された本数より少ない場合等、「納品伝票」の木材の明細とこの様式に記入する木材の内訳が一目で突合できない場合は、この様式の左側に記載の木材の番号を、納品伝票の該当する木材の横に手書きで記入するなどして分かるようにする。)

《注意事項》

- 認証材内装材使用内訳書として使用する場合は、(予定)を二重線“=”で消して使用してください。
- 対象部材は、床、壁、天井材、階段です。
- 納品伝票の写しと共に提出する際には、本内訳書と納品伝票の写しの内容が突合できるように記入してください。

県産材構造材使用 (予定) 内訳書

(1/)

色づけされている箇所に記入すること

県産材使用量	0.0 m ³
--------	--------------------

構造材用

申請者氏名 _____

申請者の住宅等の構造材における県産材の材積は、下記のとおりであることを証明します。

住所	_____
工事施工業者	_____
名称	_____
代表者名	_____ 印
電話番号	_____

※法人の場合は必ず代表者印（丸印）を使用して下さい。

法人の場合は必ず代表者印（丸印）を使用

番号	使用部位名	樹種	長さ (mm)	断面寸法 (mm)		単材積 (m ³)	本数 (本・枚)	材積 (m ³)
				幅	厚み			
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								
31								
32								
33								
34								
35								
36								
37								
38								
39								
40	合計							0.0000

一緒に提出する「納品伝票」に記載されている木材の明細の、使用部位名、樹種、長さ、断面寸法、本数等と突合できるようにする
 (実際に使用した本数が納品された本数より少ない場合等、「納品伝票」の木材の明細とこの様式に記入する木材の内訳が一目で突合できない場合は、この様式の左側に記載の木材の番号を、納品伝票の該当する木材の横に手書きで記入するなどして分かるようにする。)

《注意事項》

- 県産材構造材使用内訳書として使用する場合は、(予定)を二重線“=”で消して使用してください。
- 対象部材は、土台、柱(管柱及び通柱を含む。)、梁(小屋梁を含む。)、桁、胴差、大引、構造用合板です。
- 納品伝票の写しと共に提出する際には、本内訳書と納品伝票の写しの内容が突合できるように記入してください。

県産材内装材使用（~~予定~~）内訳書

(1/)

色づけされている箇所に記入すること

県産材使用量	0.0 m ²	
--------	--------------------	--

内装材用

申請者氏名 _____

申請者の住宅等の内装材における県産材の面積は、下記のとおりであることを証明します。

	住 所	
工事施工業者	名 称	
	代表者名	印
	電話番号	
※法人の場合は必ず代表者印（丸印）を使用して下さい。		

法人の場合は必ず代表者印（丸印）を使用

番号	使用部位名	樹種	長さ (mm)	断面寸法(mm)		単面積(m ²) 長さ×幅	本数(枚)	面積(m ²)
				幅	厚み			
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								
31								
32								
33								
34								
35								
36								
37								
38								
39								
40								
	合 計							0.0000

一緒に提出する「納品伝票」に記載されている木材の明細の、使用部位名、樹種、長さ、断面寸法、本数等と突合できるようにする
 （実際に使用した本数が納品された本数より少ない場合等、「納品伝票」の木材の明細とこの様式に記入する木材の内訳が一目で突合できない場合は、この様式の左側に記載の木材の番号を、納品伝票の該当する木材の横に手書きで記入するなどして分かるようにする。）

《注意事項》

- 県産材内装材使用内訳書として使用する場合は、(予定)を二重線“=”で消して使用してください。
- 対象部材は、床、壁、天井材、階段です。
- 納品伝票の写しと共に提出する際には、本内訳書と納品伝票の写しの内容が突合できるように記入してください。

年 月 日

工事完了証明書

奈良県知事 殿

建築業者の住所（所在地）、名称、代表者、電話番号、代表者印を確認
※法人の場合は、必ず代表者印（丸印）を使用

（工事請負者）

所在地

事業所名

代表者名

印

電 話

FAX 番号

担当者名

※法人の場合は必ず代表者印（丸印）を使用してください

下記の住宅の工事が完了したことを証明します。

記

（1）証明をする住所の地名地番又は住所表示

（ _____ 様邸）

（2）証明をする住宅の工事完了日

年 月 日

年 月 日

奈良県知事 殿

(申請者)

住 所

氏 名

印

申請書、事務委任状と同じ印鑑を使用

電話番号

※必ず補助金交付申請書と同じ印鑑を使用してください。

(申請代理者)

住 所

名 称

代 表 者

(事務担当者) 所 属

印

申請書、事務委任状と同じ印鑑を使用

氏 名

※必ず事務委任状と同じ印鑑を使用してください。

どちらか又は両方に☑を入れる

- 奈良県地域認証材使用住宅助成事業
- 奈良県産材使用住宅助成事業

(該当する補助金に☑してください。)

補助金交付請求書

金 _____ 円

年 月 日付け奈良県指令奈木第 号の で交付決定のあった標記補助金を交付されたく、奈良県地域認証材使用住宅助成事業・奈良県産材使用住宅助成事業補助金交付要綱第14条の規定により請求します。

実績報告書類確認書

(確認して該当部分の□にチェックしてください)

申請書類の区分		有り	無し
1	奈良県地域認証材使用住宅助成事業・奈良産材使用住宅助成事業完了実績報告書（第10号様式）	<input type="checkbox"/>	/
2	認証材構造材使用内訳書（第2号様式）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3	認証材内装材使用内訳書（第3号様式）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4	県産材構造材使用内訳書（第4号様式）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5	県産材内装材使用内訳書（第5号様式）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6	工事完了証明書（第11号様式）	<input type="checkbox"/>	/
7	木材・木製品の合法性・持続可能性証明書（奈良県地域認証材証明書）（第8号様式）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8	木材・木製品の合法性・持続可能性証明書（奈良県産材証明書）（第9号様式）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9	納品伝票の写し	<input type="checkbox"/>	/
10	工事着手前の写真（新築の場合は不要）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	補助対象部位ごとの木材の使用状況等を確認することができる写真	<input type="checkbox"/>	/
	完成写真（新築・増改築の場合は外観全景、リフォームの場合はリフォーム部分）	<input type="checkbox"/>	/
11	チラシ・ポスター等の写し（分譲住宅の場合のみ）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

書類に不備がある場合は受付ができません。

必要な書類をこの確認書でチェックし、実績報告書と共に提出してください。

提出時の確認事項

確認事項		(確認して□にチェックしてください)
1	補助金交付申請時に押印したものと同一印鑑を使用しているか (補助金交付請求書（第12号様式）も同一印鑑が必要です。)	<input type="checkbox"/> はい
2	使用内訳書（第2号から第5号様式）、木材・木製品の合法性持続可能性証明書（第8号・第9号様式）及び工事完了証明書（第11号様式）には、法人の場合は代表者印（丸印）が押印されているか。	<input type="checkbox"/> はい
3	使用内訳書（第2号から第5号様式）と納品伝票の写しの内容が突合できるように記入しているか	<input type="checkbox"/> はい
4	写真に撮影対象（補助対象部位の名称）を明記しているか	<input type="checkbox"/> はい

▲どちらか又は両方に☑を入れる

- 奈良県地域認証材使用住宅助成事業
- 奈良県産材使用住宅助成事業
(該当する事業に☑してください。)

変更交付申請書

年 月 日

奈良県知事 殿

(申請者)

住 所

氏 名

電 話 番 号

印

▲申請書、事務委任状と同じ印鑑を使用

この様式は、申請した内容に、交付申請額の増減を伴う変更が生じた場合に使用

※必ず補助金交付申請書と同じ印鑑を使用して下さい。

(申請代理者)

住 所

名 称

代 表 者

印

▲申請書、事務委任状と同じ印鑑を使用

(事務担当者) 所属

氏名

TEL

※必ず事務委任状と同じ印鑑を使用して下さい。

年 月 日付け奈良県指令奈木第 号の で交付決定のあった、奈良県地域認証材使用住宅助成事業・奈良県産材使用住宅助成事業補助金について、下記の通り申請内容を変更したいので申請します。

記

1. 変更内容

変更事項	変更前の内容	変更後の内容

2. 変更の理由

【添付書類】 変更前の申請書に添付した書類と内容に変更がある場合は、すべて添付してください。

▲ どちらか又は両方にを入れる

- 奈良県地域認証材使用住宅助成事業
- 奈良県産材使用住宅助成事業
(該当する事業にしてください。)

利用辞退届

奈良県知事 殿

年 月 日

(申請者)

住 所

氏 名

電 話 番 号

印

申請書、事務委任状と同じ印鑑を使用

※必ず補助金交付申請書と同じ印鑑を使用して下さい。

(申請代理者)

住 所

名 称

代 表 者

印

申請書、事務委任状と同じ印鑑を使用

(事務担当者) 所属

氏名

TEL

※必ず事務委任状と同じ印鑑を使用して下さい。

年 月 日付け奈良県指令奈木第 号の で交付決定のあった、奈良県地域認証材
使用住宅助成事業・奈良県産材使用住宅助成事業補助金について、下記の通り補助金の交付を辞退した
ので届け出ます。

記

辞退の理由